

第9章 第2節

10 クロラムフェニコール

10.1 微量定量試験法

10.1.2 液体クロマトグラフタンデム質量分析計による単成分分析法（その2）

（適用範囲：脱脂粉乳）

- 「B 定 量」の「抽 出」において、100 mL の共栓遠心沈殿管をホモジナイザーの受器として用いた場合に、ホモジナイザーの種類によっては、抽出液があふれるなどして操作が困難な例がある。このような場合には、以下の方法で操作しても差し支えない。
 - ・ 「100 mL の共栓遠心沈殿管」に代えて、使用するホモジナイザーに適した容器を用いる。
 - ・ 注3に記載の機種に代えて、カップ型式のホモジナイザー（エースホモジナイザー（日本精機製）等）を用いる。